

| 第一期：平成27年4月～平成32年3月（平成30年3月中間見直し） |  |  |
|-----------------------------------|--|--|
| 3つの理念                             | ①すべての子供たちが個性や想像力を伸ばし、社会の一員として自立する環境を整備・充実する。 | 「子供自身」に焦点を当てた理念  |
|                                   | ②安心して子供を産み育て、子育ての喜びを実感できる社会を実現する。            | 「子育てへの支援」に焦点を当てた理念   |
|                                   | ③社会全体で、子供と子育て家庭を支援する。                        | 「社会全体で支える」ことの重要性に焦点を当てた理念  |
| 5つの目標                             | 1 地域における妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の仕組みづくり            | ・子供や家庭がニーズに合ったサービスを利用できるよう、地域における子供・子育て支援の実施主体である区市町村を支援し、妊娠・出産・子育てを切れ目なく支援する体制を整備   |
|                                   | 2 乳幼児期における教育・保育の充実                           | ・乳幼児期の重要性や特性を踏まえた質の高い教育・保育が確保され、地域の子育て家庭の期待に応えられるよう必要な支援   |
|                                   | 3 子供の成長段階に応じた支援の充実                           | ・子供の成長段階に応じた質の高い教育が提供されるよう、子供を取り巻く問題に家庭・学校・地域が連携して取り組んでいきます。また、次代を担う若者の就業促進や自立支援、小学生の放課後等の居場所づくり   |
|                                   | 4 特に支援を必要とする子供や家庭への支援の充実                     | ・様々な環境の下で育つ子供が、地域社会の中で生まれ、必要な支援を受けられるよう、子供や保護者の置かれた状況や心身の状態を的確に把握した上で、特に支援を要する子供や家庭に対する総合的な支援  |
|                                   | 5 次代を担う子供たちを健やかに育む基盤の整備                      | ・ライフ・ワーク・バランスの推進に取り組む企業等への支援を進めるとともに、働き方の見直しに等に向けた普及啓発及び気運醸成<br>・親子が一緒に安心して外出できる環境等を整備。また、子供の事故予防に必要な情報を提供<br>・子供の健やかな育ちのために、学校や地域の関係諸機関との連携を強化し、子供を犯罪や有害な環境から守る仕組みづくり |



|       |                      |   |
|-------|----------------------|---|
| 5つの視点 | ①「すべての子育て家庭」への支援の視点  | ・子供・子育て支援を一層充実させるとともに、必要な家庭がサービスを適切に利用できるように積極的に情報提供  |
|       | ②家庭を「一体的に」捉える視点      | ・家庭が抱えている問題を、包括的・一体的に捉え、各機関が協力し、切れ目ない支援   |
|       | ③大都市東京のニーズと特性を踏まえた視点 | ・行政だけでなく、都民、企業、NPO団体など様々な地域の団体や都民が、それぞれの役割の基に子供の育ちと親自身の成長を積極的に支援  |
|       | ④子供と子育て家庭の立場からの視点    | ・東京の豊富な社会資源を組み合わせそれらを最大限に生かして支援   |
|       | ⑤広域的な自治体の役割からの視点     | ・人材の確保と育成について、都として必要な支援の質と量を確保するため、事業者の取組を支援<br>・区市町村への支援とともに、特に支援が必要とする子供や家庭への支援の充実<br>・子供・子育て支援に関する機運の醸成など、広域的な取組 |